



ZOOM UP

経年的な保健指導対象者への 保健指導の方法を学ぶ



講演をする井上優子氏

9月3日、熊本赤十字病院において、熊本県保険者協議会主催のもと「令和元年度特定保健指導担当者研修会」を開催し、熊本県内の医療保険者や保健指導機関の保健師、看護師、管理栄養士、栄養士、運動指導士等190人が参加した。

本研修会は、保健指導担当者が、講演や活動報告、グループ討議を通じ、担当者間の課題の共有を図るとともに、効果的・効率的な実践方法を学習することを目的に毎年開催している。

今年度は、講演及び2例の事例報告があった。内容は以下のとおり。

【講演】

「保健指導は効果がある～あきらめずに継続支援～」

合同会社保健指導センター南城 代表 井上優子氏

【事例報告】

①「特定保健指導終了者12.7%→100%へ～伸びる仕掛けとその挑戦～」

氷川町町民課 保健師 長岡ひとみ氏

②「特定保健指導の取り組み～グループ支援の実際から～」

熊本県厚生農業協同組合連合会 管理栄養士 長井望美氏

～講演～



合同会社保健指導
センター南城
代表 井上優子氏

井上氏は、現在、協会けんぽや共済組合の保健指導の委託を受けている。働き盛りの人を中心に保健指導を実施しているため、その経験から若い世代への保健指導のポイント等を織り混ぜながら講演した。特に初回面接においては、対象者の生活習慣を踏まえ、住民自身が考え、気づき、選択できるような保健指導が大切であると話した。そして、保健指導を行った後の振り返りを日頃から行うことで、今後の保健指導のスキルアップに繋がると述べた。

また、『保健指導にあたっての心得』では、「健診データの読み取りの力をつけるためにも直接会うことが大事」、「学習教材を理解するときにも基礎知識が必要」、「健診データと生活を関連づけて理解する」、「保健指導＝生活指導ではない」等について、例をあげて説明した。

後半のグループワークでは、事例検討を行い、保健指導時における資料の活用方法について具体的に解説し、また、各市町村、医療機関の保健指導の方法や取り組みについて情報交換を行った。

研修会参加者からは、「日頃行っている保健指導を振り返ることができ、今までの保健指導を見直す機会になった」、「1人1人丁寧に結果を読み取り、事前に整理してから保健指導を行う必要性を改めて感じた」、「グループワークでは、他の方の保健指導方法も知ることができた」などの感想が寄せられた。

～事例報告①～



長岡ひとみ保健師

氷川町町民課保健師の長岡氏は、平成 29 年度に特定保健指導終了率 100%となり県内 1 位となった取り組みについて詳細に報告した。

まず、体制整備として、平成 28 年度に業務担当制から地区担当制に移行したことで、個別に継続的にフォローできるようになった。さらに、集団健診の中に初回面接を組み込むことで、健診メニューの一つとして自然な流れで面接が行われるため受け入れが良くなった。また、結果説明時に踏み込んだ指導が行えるなどのメリットを紹介し、平成 20 年度 12.7%で 31 町村中 29 位であった特定保健指導終了率が伸びた理由について話した。

訪問する際のポイントとしては、直接家に行く、とにかく諦めずに頻回に訪問する等、事例を提示し、丁寧に関わっていることを報告した。今後も、住民が「受けてよかった」と思えるような保健指導を心がけて頑張っていきたいと述べた。

研修会参加者からは、「健診当日の初回面接の支援の実際を学ぶことができた」、「指導率の向上だけでなく、体重減少や検査データの改善等の効果も出ていることに驚き、専門職のスキルアップの必要性を痛感した」などの感想が寄せられた。

～事例報告②～

熊本県厚生農業協同組合連合会（厚生連）管理栄養士の長井氏は、特定保健指導のグループ支援の取り組みの流れとその利点等について報告した。

厚生連は市町村からの委託も多く、動機付け支援を中心に支援を行っている。平成30年度からは支援期間を6か月から4か月に短縮し、また初回面接はグループ支援に変更したと述べた。グループ支援は広い分野から情報提供ができ、その中で自らの生活習慣を振り返り、目標設定ができること、マンパワー的にも効率が良い、また、参加者からは、期間が短くなったことで集中して取り組めた、グループ支援により参加者同士で情報が共有できた等の意見が聞かれると述べた。

健診の実施率向上や中断を防ぐために、特定健診や特定保健指導の必要性について説明し、それは、医療費適正化や健康保険料の抑制に繋がるということも伝えていくことが重要であると考えているため、まずは対象者が結果説明会に参加いただけるような働きかけを保険者とともに考えていきたいと述べた。

研修会参加者からは、「個別のみで支援を行っていたが、対象によってはグループ支援も検討しようと思った」、「他施設の活動がとても勉強になった。今後取り入れられそうな内容もあったので、活用していきたい」などの感想が寄せられた。



長井望美管理栄養士



研修会の様子